

13. 筋骨格系・結合組織の疾患

文献

Itoh K, Katsumi Y, Kitakoji H. Trigger point acupuncture treatment of chronic low back pain in elderly patients –a blinded RCT *Acupuncture in Medicine* 2004; 22(4): 170-7. CENTRAL ID: CL- 00505277, PMID: 15628774

1. 目的

慢性腰痛患者の痛みと QOL に対する鍼治療効果-2 種のトリガーポイント鍼治療と標準的鍼治療の比較

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

明治鍼灸大学附属病院整形外科外来、京都、日本

4. 参加者

65 歳以上で発症後 6 か月以上経過した腰痛患者 35 名 (男 10 名・女 25 名、年齢 65-81 歳)。

5. 介入

Arm 1: トリガーポイント浅刺群 (12 名)。ステンレス鍼 (0.2×50mm) を用い、3mm 刺入し、雀啄を施し、得気を得た後、10 分間置鍼した。

Arm 2: トリガーポイント深刺群 (10 名)。同様のステンレス鍼を用い、20mm 刺入し、雀啄を施し、局所の筋の収縮を確認後、10 分間置鍼した。

Arm 3: 標準鍼治療群 (13 名)。腎兪 (BL23)、大腸兪 (BL25)、環跳 (GB30)、委中 (BL40)、昆侖 (BL60)、陽陵泉 (GB34) の各経穴と 4 か所以上の阿是穴に対して、同様のステンレス鍼を 20mm 刺入、雀啄を施し、得気を得た後、10 分間置鍼した。

週に 1 度 30 分間の治療 3 回を 1 セッションとし、3 群ともセッションごとに間隔をあげ、2 セッションの鍼治療を行った。全治療期間は 12 週間であった。

Arm 1 で 3 名、Arm 2 で 1 名、Arm 3 で 4 名の脱落があった。

6. 主なアウトカム評価項目

VAS による痛み評価、および Roland Morris Disability Questionnaire (RMDQ)

7. 主な結果

VAS スコアでは、Arm 2 において、治療前に比較し治療後に有意な低下が認められたが、他の 2 群では変化がなかった。RMDQ スコアでも同様な結果であった。

8. 結論

トリガーポイント深刺は、高齢者の腰痛に対して、トリガーポイント浅刺や標準鍼治療に比較して有効である。

9. 鍼灸学的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

Arm 2 で 1 名、症状の悪化がみられた。

11. Abstractor のコメント

本研究は、3 つの異なる鍼治療法の有効性の検証を試みた貴重な研究である。特にトリガーポイント治療における鍼刺入の深度の違いの意義を明らかにしようとしたことは大いに評価できる。また、条件反転に準じて評価項目の時系列変化を観察しようとした点も興味深い。著者らは前後比較において有意な差を見いだしているが、3 群間に差は認められなかった。従って、トリガーポイント深刺群が他の 2 群に対して有効性が優る可能性はあるものの、さらなる検証が必要である。また、サンプル数が少なく、フォローアップも十分ではないことについても改善の余地がある。

12. Abstractor

若山育郎 2011.9.9